

地域少子化対策強化事業計画書（市町村分）

都道府県名 三重県

市 町 村 名	伊勢市
事 業 名	伊勢市ライフステージバックアップ事業
事業の趣旨・目的	結婚・妊娠・出産・育児に関する「情報」は様々なメディアにあふれている。しかし、それがゆえにその中から自らに必要な情報を選択することが困難な状況に陥ることがあり、孤立感や育児不安につながってしまう若者が少なくないことから、これらの解消を図ることを目的とする。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成27年 3月31日
所 要 見 込 額	950,000円
地域の実情と課題	当市においても少子化は加速度的に進行している。年少人口の地域差も将来にわたり拡大していくであろうと推計されており、市が活力を失わずに満足して暮らすことができるまちであるためには、積極的な取り組みを進めていかなければならない。結婚、妊娠、出産、育児に関する身近な情報を適切に発信し、それぞれのライフステージに応じた支援を行っていくことで、不安が解消され安心して子育てができる地域づくりが必要である。
事 業 内 容	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 少子化対策県民運動等推進事業（県事業） 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開する。</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等 ライフステージ講演会&パネルディスカッション開催事業 【新規】 結婚や家族を持つことの意義に加え、ライフステージを意識した働き方、生き方、などを考えるきっかけとなるようワークショップ交流会や講演会及びパネルディスカッションを開催する。 ワークショップ交流会では、コミュニケーションスキルの向上や相手を理解すること、働くことなどを改めて学習したり、家庭生活におけるWLBの実践、家事育児の役割分担などにより、子供を生み育てやすい家庭環境をつくることなどを啓発する。講演会&パネルディスカッションでは、結婚に向けた情報提供や交流会の報告も兼ねたものにする。開催に当たっては、関係機関や市民団体等からなる実行委員会を組織し連携して行う。</p> <p>【先駆性】 民間団体も構成員に加わった実行委員会により、民間団体に広く参加を得て行う点、また、結婚や家族を持つことの意義、ライフステージを意識した働き方、コミュニケーションスキル向上、WLBの実践等多様な内容を、それぞれに応じた手法（講演会、交流会、パネルディスカッション等）で効果的に行うものである点で、先駆的である。</p> <p>みえの出産い支援事業（県事業） 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」の実現に向け、結婚に向けた情報提供等に取り組む。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供 妊娠出産前サポート事業（県事業） 妊娠・出産に関する相談体制づくりや医学的な知識に関する普及啓発を図る。</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 健やか親子支援事業（県事業） 出産前後の妊産婦の支援の強化のため、医療機関を含めた周産期からの関係機関のネットワーク構築事業を行う。</p>

事業の効果	ライフステージのイメージを描く手助けとなる事業、地域や行政が備えているバックアップに関する情報を理解しやすい簡潔な形で提供して不安感を除去し「安心を与える」事業を実施し、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行っていくことで、少子化打破への有効な足がかりにつながるものと期待できる。
都道府県との連携方法	1、3、4の部分は県事業で補完し市独自事業と合わせながら結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行っていくとともに、県の事業計画との整合性の確認と全国で実施される他事業に関する情報収集を受けることにより、より効果的・効率的に事業を連携して「切れ目のない支援」を展開していく。